

GlutaMAX™ I (100×)

L-アラニル-L-グルタミンである GlutaMAX™ I は、L-グルタミンのジペプチド代替品です。哺乳類細胞培養において L-グルタミンと同じモル濃度で代替品として直接使用でき、順化をほとんど必要としません。GlutaMAX™ I は、哺乳類細胞培養系の増殖効率および増殖性能を改善し、インキュベーション中の L-グルタミンの自然分解に伴う問題を解決します。水溶液に対する溶解性が高く、熱に対しても安定です。0.85% NaCl に溶解する 200 mM ストック溶液 (100×) として提供されています。

内容	カタログ番号	内容量
GlutaMAX™ I (100×)	35050-061 35050-038*	1 x 100 mL
	35050-079 35050-087*	20 x 100 mL

*欧州でのみ販売

使用目的

体外診断 (IVD) 用です。注意：ヒトまたは動物の治療に使用することはできません。ラベルに表示された目的以外に使用した場合、現地の法律に抵触することがあります (日本国内では研究用試薬として販売しております)。

保存

室温保存 (15~30°C)

使用期限

24 ヶ月

使用法：

1. 初回および 2 回目の継代については、(必要に応じて) 培地に GlutaMAX™ I と L-グルタミン (カタログ番号 25030) を 3 : 1 の濃度で添加することを推奨します (例えば、8 mM の濃度が必要な場合、6 mM GlutaMAX™ I と 2 mM L-グルタミンを使用します)。これにより、細胞が新しい条件に順化するまでの増殖の遅れを最小限に抑えることができます。
2. 必要なモル濃度の溶液を培地に無菌的に添加します。

テクニカルサポート

製品安全データシート (MSDS)、分析証明書など、製品および技術情報の詳細については、当社ウェブサイト www.invitrogen.com をご覧ください。さらにサポートが必要な場合には、テクニカルサポートチーム jptech@lifetech.com までメールでお問い合わせください。

本書に記載の商標は、ライフテクノロジーズ社または各所有者に帰属します。

References

1. Butler, Michael and Christie, Andrew. Adaptation of Mammalian Cells to Ammonigenic Media. *Cytotechnology* 15: 87-94, 1994
2. Butler, Michael and Christie, Andrew. Growth and Metabolism of a Murine Hybridoma in Cultures Containing Glutamine-based Dipeptides. *FOCUS*, 16, 1, 1994.
3. Yang, M. and Butler, M. (2002) Effects of Ammonia and Glucosamine on the Heterogeneity of Erythropoietin Glycoforms, *Biotechnology Progress* 18, 129-138.

September 2010

Form No. 3960